

わたしの 妊娠報告書

記載日 2020年 11月 7日

おめでた宣言日	2020年	9月
年齢 (39) 歳	平成 (29) 年 (3) 月	結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。	

不妊治療歴
(2) 年 (1) ヶ月
他院での治療歴
なし (あり) → 内容 (タイミング法 , 子宮内膜ポリープ除去)
ASKAでの治療歴
一般不妊治療
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (2) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 (5) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回
生殖補助医療
<input type="checkbox"/> DOST法 () 回
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (2) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

ストレスをためないこと

体を冷やさないこと

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

低AMHであり、子宮内膜症があったため、ショート法で体外受精の採卵のために卵を育てても、数が4個ほどしか育たず、1回目の採卵では、卵が胚盤胞まで育たず、全滅したことがかなりつらかったです。2回目では、胚盤胞での凍結はあきらめ、初期胚での凍結を目指したところ、3個凍結でき、1回目の移植で見事に妊娠することができました。

その他 (通院・治療費・家族など)

派遣のフルタイムで働いていましたが、勤福失が大阪ということもあり、かなり会社には柔軟に対応していただきましたが、仕事の後、走って電車に飛び乗り、診療に通ったり、午前休をとって診療を受けた後、昼ごはんも食べずに午後から仕事をやるのはかなりストレスがたまりました。体外受精にスタッフアワータイムで仕事を辞めて、治療に専念したことでストレスがたかまりました。

治療中の方へのアドバイス

胚盤胞での移植が妊娠の可能性が高いとは思いますが、私のように低AMH、高齢で卵の数が採卵から場合、可能性が低くなるとしても、初期胚で凍結して、1か月も早く移植することが、妊娠に早くつながるような気がしています。

スタッフへのご意見など

一度初期流産した後、はじめて貴院に受診したときに、先生が「流産しているからその次の妊娠をいそいそと進めよう」と言ってくれたことが、自分の考えと一致して安心して診療を受けることができました。ありがとうございました。ただ、診療の待ち時間が長いのは仕方ないと思うのですが、会計の待ち時間が長いのがけっこう苦痛でした。(バスの時間があつたもので...)。